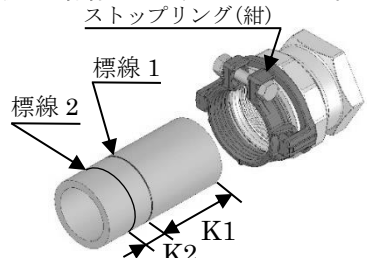


SKX® 施工手順 (塩ビ管用)

①パイプ挿入量記入

パイプ挿入量(K 寸)を測り、**標線を 2 本**記入して下さい。**分解せずにストップリングとキャップが接した状態で標線 1 まで挿し込んで下さい。**



注1) ・パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。
 ・滑剤の塗布は不要です。
 ・管止めがある場合は、管止めから 3mm 以上あけて施工して下さい。

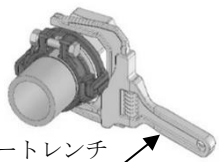
②キャップ仮締め

本体とキャップを十分手締め(素手もしくはスベリ止め付グローブで締まらなくなるまで)した後、マジック等で**マーキング**して下さい。

注 2) ・十分な手締め(素手)は 8N・m 程度です。
 ・十分な手締めは管を引っ張っても抜けない程度まで締めて下さい。
 ・手袋使用の場合は、スベリ止め付グローブを使用して下さい。

③キャップ本締め

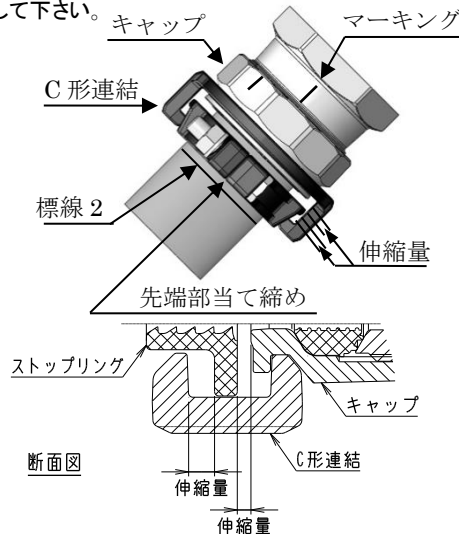
ショートレンチにて**キャップを標準締付回転数(標準締付トルク)**で締め付けて下さい。



注3) 低温時は通常より1/4回転増し締めして下さい。

④ストップリング本締め

C形連結を中心方向に**押えながら、ストップリングを締めやすい位置**にして下さい。**ストップリングが 2 本の標線の間かつ両端伸縮量を保った状態で、ストップリング先端部を当て締め**して下さい。



注 4) 当て締め後さらに**締め付けすぎると破損などの不具合**が生じることがあります。
 注 5) 管とストップリングが直角になるように締め付けて下さい。
 注 6) 再施工時は再施工手順書に従って下さい。

⑤施工完了・施工手順チェックシートへの記入

ストップリング端面が 2 本の標線の間にあることを確認してください。
 キャップとストップリングの**締め忘れのないように確認**を行って下さい。

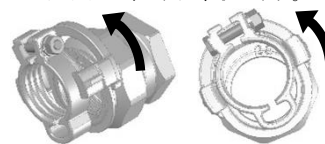
《管の取り外し》

・ストップリング締付ボルト・ナットとキャップを**緩める**だけで管と分離可能です。(分解不要)

SKXストップリング (SR) 交換手順

①C形連結取り外し

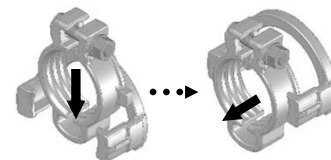
C形連結の一方を支点とし、他方をプライヤー等で回し、取り外す。



③ストップリング交換

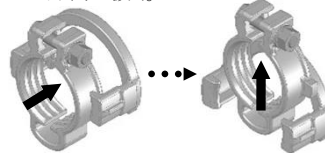
適用管用SRとC形連結を合わせ、SRを下方方向に入れ、C形連結から離す。

※右図のように、ボルト・ナットを上にして、向きが逆にならないように注意する。



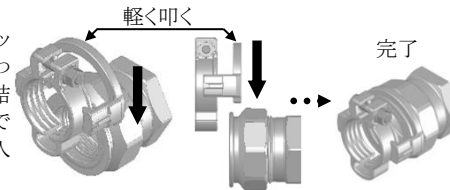
②ストップリング取り外し

SRとC形連結を合わせ、SRを上方向に抜く。



④C形連結取付

C形連結をキャップの外溝に合わせて、C形連結上部を木槌等で軽く叩いて入れ、完了。



管呼び径	SR呼び径(紺)	本体呼び径	K (mm)		キャップ		ストップリング(参考締付トルク N・m)	六角対辺		
			K1	K2	十分な手締め後回転数	参考締付トルク (N・m)				
13	V13	V13	50	+5 -0	5	1/4~3/4	(15)	当て締め	(3)	10
16	V16	16			5	1/2~3/4	(20)		(4)	
20	V20	20	55	5	(5)					
25	V25	25	60	+10 -0	5	1/2~8/10	(30)		(8)	13
30	V30	V30			5				(12)	
40	V40	40			65				5	(25)
50	V50	50	75	5	1/2~1	(35)	(25)	17		

注) パイプエンドの場合、K 寸 (K1) は全呼び径+5/-0 です。

※太字：下限値

(株)川西水道機器

TEL 087-805-0001 (施工コールセンター)
 FAX 087-877-2801